



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和2年7月1日

第4号

校長 矢野 晴一

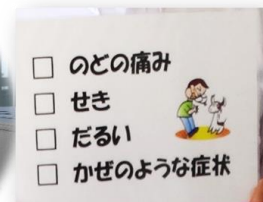
学校教育目標：「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

「学校でできることをていねいに！」 ～ 毎日の感染予防対策 ～

現在、ご家庭に毎朝の【検温】や【健康観察カード】の提出をお願いしておりますが、この状況はしばらく続くものと考えられます。

学校においても、職員室前にコーナーを設置し、校長・教頭・養護教諭がカードを忘れてしまった子どもたちの検温・健康観察・判断・家庭への連絡等を担当しております。

「いつまで続くのだろうか」という気持ちもありますが、**日常が戻る日を信じて**、毎日感染予防対策に取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。



「私たちの手で大原中の文化を護る！」 ～ 合唱活動再開 ～

学校再開後のある日、聴こえてきた美しい歌声に誘われてベランダに出てみると、それは音楽の授業でベランダに出て、マスクをつけた状態で歌っている3年生の姿でした。

制限されることは多いものの、3年生や文化委員会を中心に少しずつ「合唱の取組」もスタートしてきました。昼休みには、各学年のパートリーダーや音取り係の学習会も行われました。帰りの会でも3年生の合唱練習を1年生が学びに行く取組も行われました。

ベランダを使ったり、廊下で向きを変えて歌ったり、予防のための工夫を凝らしながら合唱に取り組む子どもたちの姿から、「**私たちの手で大原中の文化を護るのだ!**」という強い決意が感じられます。



「大会はないけれど・・・！」 ～ 汗びっしょりの部活動 ～



「なんとすてきな子どもたちなのだろう！」

中体連の正式な大会や吹奏楽のコンクールが中止と決まってから間もなくして部活動が再開となりました。心が乱れてしまいそうな状況の中、子どもたちは、なげやりになったりやけになってしまったりしそうな気持ちをぐっところえながら、部活動の時間、仲間とともに懸命に汗を流しています。

その健気な姿をみているだけで、感動で心が震える思いでいっぱいになります。

「元気に学校生活を送ることができていますか？」

～ 寝る・起きる・食べる等の生活習慣の立て直し ～



およそ三か月にわたる休業期間を経て学校が再開されて一か月。

子どもたちの姿をみると、朝から元気に学校生活を送っている姿とともに、たいへん心配される点も見受けられます。

それは、学校がない自粛期間中の生活習慣の乱れについてです。

「深夜までゲーム」「不規則な時間に食べながらSNS」「昼ごろに起床」・・・心当たりはないでしょうか。

まさに、「早寝をこころがける」「食事をきちんととる」「朝、元気に起きる」という健康な生活のための条件と正反対になってしまっている子どもも見受けられるようです。

実際、先日1年生の学年集会で、「ゲームを3時間以上やっている人？」の問いかけに複数の子どもたちが手を挙げていました。

あらためて、ゲームをはじめとするSNSに対して「時間」と「内容」に関する約束事を決めて、子どもたちが健康に学校生活を送ることができる環境をつくっていくことが必要だと考えております。

ぜひ、子どもたちの健康を守るために、ご家庭でも、子どもたちと向き合ってお話していただきますようお願いいたします。

合言葉 早寝早起き 朝ごはん
みんなで実行 元気な笑顔
晴一

「よろしく願いいたします！」 学校運営協議会開催

6月24日（水）、本年度本校の学校運営協議会が開催されました。この会は、学校と保護者や地域のみなさんが知恵を出し合って協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めていこうとするもので、いわば、「大原中学校の応援団」ともいえる会議です。

区長会、青少年育成部会、少年補導員、PTA、市役所それぞれの代表のみなさま、校区の地域学校協働活動推進員のみなさまで構成されています。

学校から本年度大事にしたい「あたりまえの日常に感謝しながら、仲間とともに小さな努力を継続する」という重点目標や合言葉である「積小為大」「つながり」「ありがとう」について、新型コロナウイルス感染予防対策等について説明をし、それぞれの立場からご意見をいただきました。先生たちみんなで考えた予防対策や生徒会が考えた対策等について、高い評価と激励をいただきました。今後とも、本校教育活動への応援をよろしく願いいたします。



小さいけれど大きな感動 その5 ～ 見えないところで感謝の心 ～

6月24日（水）から、トイレの改修工事が本格的に始まりました。たくさんの仮設トイレが設置され、新しいトイレができるまで子どもたちや来校者のみなさまにご不便な思いをさせてしまうこととなります。

使えなくなる前日に、学校中のトイレを見てまわりました。すると、掃除の前はなかなかスリッパが並んでいることが少ない中で、一か所だけスリッパがきれいに並べられているトイレがありました。

もしかすると、これは「改修のためにこのトイレを使うのはこれが最後になるかもしれない。だから感謝の気持ちをこめてスリッパを並べよう」と思ってくれた誰かの心のこもった自発的な行為だと考えたら、とてもうれしくなりました。

思わず「はきものをそろえると 心もそろう」という詩の一節が心にかび、みんなの行動につながるといいなと感じました。

